

1 学年だより

令和 3 年 6 月 2 4 日 (木)

No 5 5

夢の宅配便

1 学年 主任

水野 喜代治

「6 0 c m × 4 0 c m」

6 0 c m × 4 0 c m このサイズは、何でしょうか？このサイズは、学校の生徒の使用している机のサイズです。この机の上で、国語、数学、社会、英語、理科、美術、音楽、技家、保健体育と 9 教科の勉強をしています。アニメのドラえもんは、世界の国々で放映されていて、どこの国でも人気のアニメです。ドラえもんの人気の秘密におなかのところにあるポケットの存在が大きいのだと思います。もし、ドラえもんがあのポケットを持っていなかったら、ただの猫のロボットになってしまいます。

ドラえもんは、あのポケットからさまざまな道具を取り出します。「どこでもドア」「タケコプター」などなんでも思いのままです。ポケットから取り出した道具は、すべての願いをかなえてくれます。便利というより、もう魔法のポケットなのです。子どもたちは、テレビを通して、「自分のおなかにもあのポケットがあったらいいのに」とどれだけ夢見たことでしょう。

私が、中学生の頃に、各家に電話機がひかれました。黒い電話機はいつでも遠くにいる人と話せる魔法の通信機でした。当時の電話は回転式のダイヤルがついていて、人差し指をダイヤルに入れて番号を回すものでした。電話が各家庭にひかれる前は、友達と「さようなら」をして別れたら、翌日、会う前までは、お互い話すことはできませんでした。今はスマホで世界中の人と何人とも話せます。また、平安の昔から、竹取物語（かぐや姫）で描かれているように、夜を照らす月はロマンの塊りでした。母が、「喜代治、お月様にはウサギが住んでいて餅つきをしているんだよ！」と夜空を見上げて話してくれました。「おかあちゃん、僕が大人になったらおかあちゃんを月に連れて行ってあげるね！」と言うと、「ありがとう！遠いよ。」と笑っていました。しかし、私が小学校 6 年生の時にアメリカの宇宙ロケットが月まで行って、人類が月面を歩きました。その映像が全世界に生中継されました。科学の進歩は、キヨちゃんと母のロマンを打ち砕いて、月には生物はいないことを映像で見せつけたのです。

電話も月まで飛ぶロケットもすべては、この 6 0 c m × 4 0 c m の机からスタートしました。人間は、絶対に無理だと思われることを机の上で計算し、製図し、考えて、新しいものを作り出し、生み出してきました。机は、まさにドラえもんのポケットです。机からたくさんの方が生み出されていくのです。今、毎日、みなさんはこの机に座ってたくさんの方のことを学んでいます。この机の上で学んだことが、みなさんにとってのドラえもんのポケットになるはずです。一生懸命に勉強して、周りの人を救えるようなポケットを持てるとよいですね。

私に、先週、新型コロナウイルス感染拡大防止のためワクチン接種の案内が届きました。机の上で、ワクチンを開発してくれたドラえもん感謝して、ワクチンの予約をしようと思います。



キヨさんの詩（うた）

笑顔に救われました

温かいやさしい笑顔で

いつも、励ましてくれました

やさしいまなざしで

「転んでしまったの

痛かったかい、泣いていいんだよ

転ぶことは、悪いことではないんだよ」

手をそっと差し伸べてくれました

この地球上で、誰よりも

私にやさしい人でした……

今日は、テスト

子供を学校まで送って

昇降口で「頑張っつてね！」とごぶしとごぶしを

そっと合わせます

見送った後に、涙をこぼすお母さん

お母さん！お母さんの涙、

「お子さんに届いていますよ」と私は心に呟いた